

小振りで、あっさりとした りょう Text は本文用として

代日本画のなかにあって独自の 趣に深みを与えることに成功したのであろう。 全体を制御する技術も備えていた。それによって、渓仙は、 を含む南 おもに大正から昭 画的 な画面構成を特異としたが、 和初期に か 画風を打ち建てた。 けて活躍した日本画家の 奔放な表現を抑制 大胆な省略と誇張 富 田 俳諧的 渓 仙 画 は な 近 面 りょう Text R + 小塚明朝 R 12/22 pt 31 字詰め 字送りベタ

桜と山とがただ描かれているのではない。 に余韻が深く残る。 のものが伝わってくる。 が夜桜と背景の山に包み込まれているかのようである。 祇園夜桜」という作品で、渓仙は夜桜の情景を見事に描 だから、その絵の夜桜の情景に感じ入った後 あたかも画家自身のこころ 画家の感慨そ てい

りと描かれているのだ。 と以前からある情景としての、 のようなものであったか」と思い出すことができる。人の記憶にず に意識されるだけでは終わらない。一拍おいてからも、「夜桜とはそ 渓仙の絵にあっては、 夜桜の華やかさ、その一刹那が、 共感の対象としての「夜桜」 ただ鮮やか がはっき . つ

ていた。 渓仙は 渓仙が死んだという知らせに大観は号泣したといわれる。 しばしば異才と呼ば れるが、 横 Щ 大観は渓仙 0) 才能を意識

> 独自の画風を打ち建てた。 ていた。それによって、 表現を抑制し、 含む南画的な画面構成を特異としたが、 本画家の おもに大正から昭和初期にかけて活躍 冨田渓仙は近代日本画のなかにあって 画面全体を制御する技術も備え 渓仙は、 大胆な省略と誇張を 俳諧的な趣に

深みを与えることに成功したのであろう。

だから、 である。 が夜桜と背景の山に包み込まれているかのよう ているのではない。 余韻が深く残る 景を見事に描いている。桜と山とがただ描かれ 「祇園夜桜」という作品で、渓仙は夜桜の その絵の夜桜の情景に感じ入った後に 画家の感慨そのものが伝わってくる。 あたかも画家自身のこころ

ようなものであったか」と思い出すことができ わらない。 刹那が、 かれているのだ。 渓仙の絵にあっては、 共感の対象としての 人の記憶にずっと以前からある情景として ただ鮮やかに意識されるだけでは終 一拍おいてからも、 夜桜の華やかさ、 「夜桜」がはっきりと 「夜桜とはその その

渓仙はしばしば異才と呼ばれるが、 山大観

> りょう Text L + 小塚明朝 L 9/16.5 pt 21 字詰め 字送りベタ

吐した日

奔放な

おもに大正 か 16 昭 和初期 に か け て活躍 した日 本 画 家 0) 冨 田 溪 仙 は 近

代日本 全体を制 南 画 御 画 0) する技術も備えてい 的 な かにあっ な 画 面 |構成を特異としたが、 て独 自 0) た。 画風 それによって、 を打ち建てた。 奔放な表現を抑 渓仙 大胆 な省略 は 制 俳諧: と誇 的 画 な 面

趣に深みを与えることに成功したのであろう。

桜と山とがただ描かれているのでは が夜桜と背景の山に包み込まれて に余韻が深く残る。 もの 「祇園夜桜」という作品で、 が伝わってくる。 だから、 渓仙は夜桜の情景を見事 その絵 (1 るか な 6 の夜桜の情景に感じ入った後 のようである。 あたかも画家自身のこころ 元に描 画 家 0 7 感慨 1)

りと描 と以前 のようなものであったか」と思い出 に意識されるだけでは終わらな 渓仙の絵にあっては、 か からある情景としての、 れているのだ。 夜桜 の華 共感の対象としての「夜桜」 61 や か すことができる。 き、 拍 おいてからも、 その 刹 那 人の記憶にず が、 夜桜とは ただ鮮 が には つ ゃ 专 · つ か

渓仙は、 渓仙が死んだという知らせに大観は号泣したといわれる。 しばしば異才と呼 ば れ る が、 横 Щ 大観は渓 仙 才能を意識

> りょう Display M +小塚明朝 M 12/22 pt 31 字詰め 字送りベタ

りょうDisplayはキャッチコピーから見出しまで、 幅広い用途でご利用いただけます。

りょう Display H +小塚明朝 H 24/36 pt プロポーショナル+手動調整 ローマンは Minion Pro Bold 18 pt

かな書体ファミリーりょう。は既存の明朝体と組み合わせるための新しいかな書体です。 りょうは新進気鋭の西塚涼子によるデザイン。力強くスピード感のある若々しい筆致は、従来にない独自のものです。 デザインにあたって、彼女は歴史上のさまざまな仮名や草書の筆法に学びながら、試作をくりかえしました。 伝統的なかなの筆法にもとづきながら、新しい提案をふくむ書体にしたいという意図があったからです。

りょう Text EL +小塚明朝 EL 7/13 pt プロポーショナル+手動調整

の利用に適しています。 ターや広告の見出しなど大きな文字サイズで 文字サイズでの利用に適し、 かな書体です。Text は本文や比較的小さな を想定したふたつのファミリーで構成される りょうは Text と Display という異なる用途 Display はポス

ファミリーには Medium, Semi-Bold, Bold 易に組み合わせて使うことができます。 用意しました。お手持ちの他の和文書体と容 Extra-Bold, Heavy の 5 ウェイトのフォントを Regular, Mediumの4ウェイト、Displayの Text のファミリーには Extra-Light, Light

かなをえ なをえらぶことでタイプフェ イス が か わ

る

る

かなをえらぶことでタイプフェ イ ス が か わ

かなをえらぶことでタイプフェ イスが か わ

かなをえらぶことでタイプフェッシュで

イスが

か

わ

る

かなをえらぶことでタイプフェッシュ DSplay M (Medium) ーイスが

か

わ

る

かなをえらぶことでタイプフェッキラ Display El (Sent-Bold) ーイスが か わる

かなをえらぶことでタイプフェイスが か わる

利用を推奨いたします

InDesign®日本語版の合成フォント機能のご

他の書体と組み合わせるには、

Adobe

りょうはひらがな、

カタカナおよび

一部の

読点類だけを含む OpenType®フォントで

かなをえらぶことでタイプフェイスがかわる かなをえらぶことでタイプフェイスがか わる



アドビ システムズ 株式会社

〒141-0032 東京都品川区大崎 1-11-2 ゲートシティ大崎イーストタワー www.adobe.co.jp

Adobe Systems Incorporated 345 Park Avenue San Jose, California 95110-2704 USA www.adobe.com

Adobe、Adobe ロゴ、Adobe Originals ロゴ、小塚明朝、りょう、Minion、Myriad および InDesign は Adobe Systems Incorporated(アドビシステムズ社)の米国および/ またはその他の国における登録商標または商標です。OpenType は Microsoft Corporation の米国および/またはその他の国における登録商標です。

る

© 2003 Adobe Systems Incorporated and its licensors. All rights reserved

Adobe, the Adobe logo, the Adobe Originals logo, Kozuka Mincho, Ryo, Minion, Myriad and InDesign are either registered trademarks or trademarks of Adobe Systems Incorporated in the United States and/or other countries. OpenType is a registered trademark of Microsoft Corporation in the U.S. and/or other countries